

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部	部局長名	永田 一廣
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	12.2億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		45人	18人	63人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>人口減少、過疎・高齢化の進展等の地域課題に対応した施策・事業を全庁的に立案・推進し、総合計画の「地域力が奏でる都市力の創出」を基本目標とする。</p> <p>具体的には、平成24年度重点項目「ゴールド集落の再生活動支援」「交流人口の増大」等に関連する事業を実施する。</p> <p>また、持続可能な財政経営基盤を確立するための取組みの一環として、本庁・支所の組織見直し、政策評価制度の導入に着手するほか、財政運営プログラム策定に併せて地域成長戦略や歳出削減策を検討する。</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 定住・交流人口の施策が成果を挙げている。</p> <p>(2) 市民との共生協働社会が構築されている。</p> <p>(3) 過疎・高齢化等への適切な施策により、元気な地域となっている。</p> <p>(4) 広聴広報の機能充実により、開かれた市政となっている。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 市民サービス向上のための改革に果敢に挑戦する職員・職場となっている。</p> <p>(2) 職員それぞれが説明責任を果たすことができている。</p> <p>(3) 部内・課内の応援体制等により、市民ニーズや行政課題に迅速・柔軟に対応できる組織となっている。</p>
---------------------	--	--------	---

平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
地域力創造 【企画政策課】	(1) まちのチカラ創造フォーラム の開催 ・本市のまちづくりを広く市内外にアピール	① 効率を高めるため運営委員会方式により開催 ② 過去2回の集大成としての開催内容の検討	○ ① 過去2回の課題等を踏まえたテーマを設定 ○ ② 指名型プロポーザル方式により最もテーマに沿った企画を採用	○ ① 期日：H25.2.9 ○ ② テーマ：“あなたの発想が地域を発創させる” ○ ③ 内容：事例紹介・基調講演ほか ○ ④ 来場者数：318人
施策評価 【企画政策課】	(1) 施策評価研修 の実施と制度の検討	① 部局長を対象に制度研修を実施 ② 課所長を対象に実務研修を実施	○ ① 部局長を対象に制度研修を実施 ○ ② 課所長を対象に実務研修を実施	○ ① 施策評価の試行ととりまとめ ○ ② 次期総合計画策定スケジュールの検討

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

		<ul style="list-style-type: none"> ③ 施策評価の制度設計 ④ 次期総合計画との連携検討 ⑤ 定住自立圏作業部会での試行 	○	<ul style="list-style-type: none"> ③ 残りの施策について評価を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ③ 定住自立圏作業部会でのビジョン掲載事業評価の試行
<p>甌島の振興・活性化 【企画政策課】</p>	<p>(1) 国定公園化の推進及び交流人口の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 国定公園化に係る県との協働作業 ② こしきアイランドキャンパス ③ こしきの恵・食の祭典 ④ 全国離島交流中学生野球大会 	○	<ul style="list-style-type: none"> ① 県の委託調査機関による現地調査への協力 ② 応募9大学中、6大学を採択・実施 ③ コンクール作品募集 ④ 東京都八丈島での大会に参加 	○	<ul style="list-style-type: none"> ① H24.10月 県環境審議会自然環境部会委員の来島視察 ○ ② 採用:6大学 熊本大学、九州産業大学、福岡教育大学、宮崎大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学 ・九州産業大学：日本産業技術教育学会長賞受賞 ・熊本大学：草食恐竜の一種で角竜（つのりゅう）類と呼ばれる中の「ケラトプス類」の歯の化石1点を発見 ○ ③ 甌の恵・食の祭典 11/10:観光・交流会 11/11:魚捌き体験 ・入賞作品（10点）はレシピ集へ掲載 ・料理教室の実施 (H25.1/26:市内10箇所) ○ ④ 第5回全国離島交流中学生野球大会(8/27～8/31)に参加 H25年度の参加について、指導者及び教育委員

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

				会と協議		
定住・交流による地域躍動 【企画政策課】	(1) 定住・交流人口の増加 ・定住目標：250人 ・よかまち・きやんせ倶楽部 新規会員：120人	① 新規定住補助制度の活用推進による転入促進 ② よかまち・きやんせ倶楽部による情報発信・相談等 ③ 移住セミナー等イベントへの参加 ④ 空き家バンク制度の構築	○ ○ ○ ○	① 定住補助利用転入者数 ・住宅取得補助 40名 ・リフォーム補助 14名 ・新幹線補助 10名 ② 情報発信・相談等を実施 ・倶楽部通信 2回発行 ・メールマガジン6回発行 ・高速道路案内所へのパンフレット掲示広告 1回 ・問合せ・相談 187件 ・新規登録会員数 4名 ③ 移住セミナーへの参加 東京2回、大阪2回 福岡1回 ④ 空き家バンク登録に係る意向確認 ・建協会との協議	○ ○ ○ ○	① 平成24年度における定住促進補助金実績 ・定住補助利用転入者数 住宅取得補助 127人 リフォーム補助 43人 ・新幹線補助申請者数 26人 ② 情報発信・相談等を実施 ・倶楽部通信 4回発行 ・メールマガジン 12回発行 ・問合せ・相談 589件 ・新規登録会員数 51人 ③ 移住セミナーへの参加 東京3回、大阪2回 福岡1回 ④ 登録意向 20件 県宅地建物取引業協会と空き家情報登録制度(空き家バンク)の媒介に関する協定を締結 (H25.3.19)
市政改革大綱の推進 【行政改革推進課】	(1) 改革アクションプラン年度計画の達成	① 前年度計画の進捗調査・公表 ② 年度計画の策定・公表 ③ 上半期進捗状況の調査・公表	○ ○	① 前年度計画の進捗状況報告・公表(6月26日) ② 年度計画の策定・公表(6月26日)	○	① 上半期進捗状況の調査・公表(11/21)
将来の本庁・支所の在り方 【行政改革推進課】	(1) スピーディで質の高い行政サービスを提供できる組織の構築	① 本庁・支所再編に向けた組織体制の構築 ② 定員適正化方針の実行	□	① 住民説明会等での意見・課題の整理や条例改正等の所定の手続きに時間を要することから、平	□	① 本庁・支所再編に向けた組織体制の構築について、事務分掌の整理と併せて改めて検討

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

			○	成 25 年度からの再編着手を困難と判断 ○ ② 各課への定員ヒアリングを開始	○ ② 定員ヒアリングに基づく各配置計画を策定 ※ H25.4 月の方針値 1,141 人に対し 1,108 人の見込み【方針比▲33 名の前倒し達成】
事務の改善・合理化 【行政改革推進課】	(1) 業務プロセス見直しによるスピーディな行政サービスの提供	① 事務事業外部評価の対象事業選定 ② 事務事業外部評価の実施	○ ○ ○	① 対象事務事業 24 事業選定 ② 行政改革推進委員会に諮問 (H24.6.4) ③ 事務事業評価 (外部評価) を実施 (全 6 回)	○ ① 行政改革推進委員会答申を受理 (H24.9.24) ○ ② 評価結果 (現状のまま維持 8 件・手段の改善 15 件、縮小 1 件)
地域再生 【コミュニティ課】	(1) 「地域力創造プログラム」の推進 ・ゴールド集落支援の推進	① ゴールド集落活性化事業補助金の活用促進 (85 ゴールド集落：4 種の支援事業)	○	① ゴールド集落活性化事業補助金を活用し、集落の活性化を支援	○ ① ゴールド集落重点支援地区補助金 (26 自治会) ○ ② ゴールド集落自主活動支援補助金 (60 自治会) ○ ③ ゴールド集落支援地区コミュニティ協議会活動補助金 (34 地区) ○ ④ ゴールド集落支援市民活動補助金 (16 団体)
共生・協働の推進 【コミュニティ課】	(1) 地区コミュニティ協議会等との協働・自立促進	① 地区振興計画掲載事業の支援 ② 自治会未加入者の加入促進 ③ 自治会再編 (合併) への対応	○ ○ ○	① 支援対象事業は適宜支援 ② 自治会加入促進懇話会提出の報告書に基づき、自治会加入案内窓口や加入促進強化月間を設け、自治会加入促進策を実践 ③ 自治会再編協議会補助金の交付など、自治会合	○ ① 支援対象事業は適宜支援 ○ ② 8 月を自治会加入促進強化月間に設定し、活動・未加入者宅を自治会長と職員で訪問 ・自治会加入を呼び掛ける横断幕を設置 (2 箇所) ・テレビモニターによる自

平成24年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

				併に係る協議を支援	<p>治会加入のPR (川内駅西口・国道3号沿線アーケード)</p> <p>・未加入者への加入案内ハガキの送付</p> <p>※転入窓口において転入・転居者へ自治会加入を呼び掛け【常時】</p>
(2) 特設防犯灯の設置	① 年次計画により設置 ・平成24年度200基設置	○	○	① 対象の小中学校・地区コミ等からの設置申請を受け、防犯灯設置工事の発注準備を推進	○ ① H24年度:184基の特設防犯灯を設置 ※H24年度をもって終了
(3) 地区コミセン等の整備	① 青瀬地区コミュニティセンターエアコン設置工事 ② 水引地区コミュニティセンターブロック積補修工事	○	○	① 建築住宅課へ執行委託済 ② 補修工事完了(8月末)	○ ① 設置完了(2月末:備品購入費として執行) ○ ② 補修工事完了(8月末)
(4) 情報発信の促進	① 市民活動情報サイトの利用促進 ② 各地区コミ等団体への情報発信に向けた研修会の実施	○	○	① 市民活動情報サイトの運用開始(6月~:1万件を超えるアクセス) ② コミ主事研修会(5月)での説明会や各地域に出向き研修会を実施	○ ① 市民活動情報サイト(H24.6月~H25.2月末:23,000件超のアクセス) ○ ② 各地域においてそれぞれ毎月又は隔月毎に連絡会を開催 ※48地区全体研修会を開催(5月)

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

	(5) 市民活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民活動促進補助金交付 ② 市民活動団体等への支援 ③ NPO法人、ボランティア団体等によるネットワークへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 8団体への補助金交付を決定(新規5:継続3) ② 各種情報等の提供 市民活動支援補助金(仮称)創設に向けて準備 ③ 市民活動ネットワーク会議の開催(9月7日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 8団体へ補助金交付 ② H25年度分市民活動支援補助金 (ステップアップコース) 10団体の公開プレゼンテーションを実施(3/1) ③ 市民活動ネットワーク会議開催(9/7) ③ 市民活動情報サイト操作説明会の開催 (H25.2.5~2.7の3日間)
生涯学習の推進 【コミュニティ課】	(1) 市民の主体的な 学習活動 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 生涯学習推進計画掲載事業の実施 ② 出前講座の実施 ③ 生涯学習フェスティバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区コミを中心に実施 ② 地区コミや自治会、PTAを中心に実施 ③ 甌地域 ・10月27日 上甌町開催に向けて準備中 本土地域 :2月23日・24日開催に向けて準備中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各地区コミを対象に実施 ② 出前講座(12件実施) 734名参加 ③ 生涯学習フェスティバル ・甌地域(上甌町:10/27) 約400名参加 ・本土地域(2/23~2/24) 約15,000名参加
男女共同参画の推進 【コミュニティ課】	(1) 男女共同参画社会実現 に向けた意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ① 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する計画策定 ② 第4期女性50人委員会による政策提言の提出 ③ 男女共同参画フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援に向けて計画策定中 ② 第4期女性50人委員会より市長へ提言提出(9月25日) ③ フォーラム(10月13日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ① DV防止基本計画 3/6 審議会へ諮問 3/21 市長へ答申 3月中 基本計画決定 ② 9/25 市長への提言書提出(全25項目)

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

		④ 男女共同参画基礎講座の開催	○	開催に向けて実行委員会を開催 ④ 出前講座 12 件実施済 (22 件実施予定)	○	3/19 提言に対する各課回答を全体会に報告 ③ 男女共同参画フォーラム開催 (10/13) 約 400 名参加 ④ 出前講座(28 件実施) 1, 224 名参加
基幹システムの安定運用 【情報政策課】	(1) 安定したシステムの確立	① 齟齬のない仕様の作成・検査、テストの実施、十分な確認	△	テスト・確認作業の不足により、手当支給事務のミスが発生	○	① 十分なテスト・確認の励行によりミスの減少・確実な処理を実行中
	(2) 迅速で確実なシステム運用の確立	① マニュアルやFAQ、体制などの整備	○	安定したシステム運用の確立に向け、マニュアル等を整備済	○	② マニュアルやFAQ等を適宜、見直し、最新の状態で提供中
情報格差の是正 【情報政策課】	(1) 地上デジタル放送難視聴地域の解消 (100%)	① 新たな難視聴地区における共聴対策の早期完了のための呼びかけの実施	○	① 10 地区について、国への補助金申請書を提出、6 地区について補助金要望調書を提出 ② 新たに難視聴地区として追加指定された地区について、対策手法等の周知活動を随時実施	△	① 共聴施設を新設した 14 地区に補助金を交付 ② 既設の施設を改修した 3 地区に補助金を交付 ※工事資材調達の遅れから 3 地区の事業を平成 25 年度に繰越し
広聴広報の機能充実 【広報室】	(1) まちづくり懇話会の開催 ・ 10 月までに 6 地域で開催 (水引中校区及び樋脇、入来、東郷、祁答院、下甕・鹿島地域)	① 各地区コミの現状・課題を広聴	○	① まちづくり懇話会 ・ 9 月末までに 5 回開催済 ・ 年度内に、残り 1 箇所 (水引中校区) を開催予定	○	① まちづくり懇話会開催 (6 地域: 水引地区及び樋脇、入来、東郷、祁答院、下甕・鹿島地域)
	(2) 市政モニター制度の活用	① 市民生活に密着したアンケート調査を実施 (4 回)	○	① 市民満足度調査に関するアンケートを実施	○	① 「広報薩摩川内」に関するアンケートを実施

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

⑦年度中間総括

【企画政策課】

- ・ 「まちのチカラ創造フォーラム」は、最終年度として位置付けている。
過去2回のフォーラムの実績、課題を踏まえ、持続的に成長するための「地域産業発展のヒント」について市民と一緒に考える機会とすべく、開催目的に沿った企画提案を選定し、さらに充実した内容になるよう実行委員会で詳細を議論しながら、より充実したフォーラムの開催を目指している。
- ・ 施策評価は、まず制度への理解と必要性について認識することを念頭に、総合計画の実際の施策を評価する演習を実施しており、指標設定や評価手法についての理解を深化させる必要がある。
- ・ 甌島県立自然公園の国定公園への格上げを目指すため、県による自然資源調査が行われており連携・協力していく。
- ・ ホームページや情報誌等で定住促進の情報発信の充実を図るとともに、定住希望者に対するイベント等に積極的に参加し、さらに関係課と連携して市の魅力をPRしながら、U I J ターン者の増大を目指した事業展開に努める。

【行政改革推進課】

- ・ 事務改善・合理化を行うため、行政改革推進委員会で24件の事務事業外部評価を実施した。評価結果については、今後、次年度以降の予算編成への反映、事務事業の見直し等につなげていく。
- ・ 組織再編方針（案）については、住民説明会やパブリックコメントで寄せられた意見・課題等の整理をしており、引き続き検討していく。

【コミュニティ課】

- ・ ゴールド集落支援職員については4月に配置が完了し、ゴールド集落に対する支援強化につながった。
- ・ ゴールド集落支援事業の説明や助言が例年より早期に実施できたことにより、ゴールド集落自主活動支援補助金の申請が増加している。
- ・ 市民活動情報サイトについては、9月末現在で約13,000件のアクセスがあり、特に関東地方（東京都・神奈川県）からのアクセスが多く、滞在時間も10分を超えている。今後は、NPO法人、ボランティア団体等の活動も紹介していく予定である。
- ・ 薩摩川内市市民活動ネットワーク会議を開催し、NPO法人やボランティア団体等との交流を図るとともに、各種の助成制度など情報提供を行った。
- ・ 女性50人委員会から提出された提言内容について、関係各課へ調査を依頼した。
- ・ 男女共同参画フォーラム開催については、実行委員会でテーマ等を決定し、10月13日に開催予定である。
- ・ 生涯学習ワーキングチームを設置し、生涯学習推進体制の充実・強化を図る方策を検討している。

【情報政策課】

- ・ 地上デジタル放送難視聴地域の解消については、対策の必要な20地区（共聴施設の新設17地区、既設施設の改修3地区）のうち16地区

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

	<p>の補助金申請及び補助金要望調書を提出した。また、残りの4地区についても、今年度中の申請に向けて作業中である。</p> <p>【広報室】</p> <ul style="list-style-type: none">概ね計画どおり、遂行できた。
<p>⑨年度末総括</p>	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none">「まちのチカラ創造フォーラム」については、「地域産業の発展」について市民と一緒に考える機会とするべく、市内各分野で独自の視点を持ち活動される企業・団体4名による事例発表と、「今年の漢字」などの仕掛け人『殿村氏』による基調講演・本市PR戦略へのアドバイスをいただいた。回収したアンケートでは内容を評価する意見が多く寄せられ、過去2回のフォーラムを含め、意義あるイベントと考えている。(318名の参加)施策評価については、本年度は、制度への理解と必要性を認識することを念頭に部課長級の研修を実施し、併せて次年度以降の大まかな策定スケジュールも検討した。また、試行的に、定住自立圏作業部会において、共生ビジョン登載事業について評価を実施し、評価に基づく時点修正を行ったが、その過程において個別計画を評価する際の課題を抽出することができた。次年度以降の総合計画策定作業に繋げていきたい。甌島県立自然公園の国定公園化について、県による自然資源調査など引き続き連携・協力していくこととし、早期の指定実現に努めたい。第3期定住補助金制度における子育て加算や市内業者加算等について、ホームページや情報誌等による情報発信の強化充実を図るとともに、都市圏で開催される定住イベントへ参加するなど、定住希望者に対し本市の魅力についてPRを行い、転入者の増大を目指した事業展開に努めた。なお、平成25年度施行予定の「空き家バンク制度」も新たなメニューとして加え、引き続き定住促進に努めたい。 <p>【行政改革推進課】</p> <ul style="list-style-type: none">事務改善・合理化を目的に事務事業外部評価(24件)を行政改革推進委員会において実施していただき、その評価結果を踏まえて次年度以降の予算編成への反映や事務事業の見直し等に努めた。次年度以降は、補助金等評価も併せて実施する予定で、より実効性の高い事務事業・補助金等評価を推進したい。新たな窓口サービスの体制として総合支援型窓口を構築した(H25.2月スタート)。今後もより質の高い市民サービス提供に資する体制整備を検討したい。組織再編については、寄せられた意見・課題等を基に引き続き検討していくこととする。 <p>【コミュニティ課】</p> <ul style="list-style-type: none">市民活動情報サイトについては、今後NPO法人やボランティア団体等の活動等を紹介していく。

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

- ・ 平成 25 年度から、市民活動促進補助金と提案公募型補助金を一体化し、市民活動支援補助金として創設・スタートすることとした。ステップアップコース補助金(H25 年度分)については、10 団体の申請を受け、公開プレゼンテーション・選考委員会の審査を経て 6 件の事業を採択した。
 - ・ 市民活動ネットワーク会議を開催し、NPO 法人やボランティア団体間での情報交換や、市の助成制度の情報提供等を行った。
 - ・ 生涯学習・男女共同参画に関する業務は例年のとおり実施し、所期の目的は達成できていると考えている。
 - 生涯学習フェスティバルの開催（本土地域、甌地域）
 - 男女共同参画フォーラムの開催
 - 第 4 期女性 5 0 人委員会（提言のとりまとめ）
 - DV 防止基本計画の策定
- 【情報政策課】**
- ・ 地上デジタル放送難視聴地域解消事業について、本年度完了を目途に事業を進めてきていたが、工事資材調達の遅れ等から平成 24 年度内の工事完成が困難となったため、平成 25 年度へ事業（3 地区）を繰越した。平成 25 年度早々の工事完成により、難視聴地域の早期解消を図りたい。
- 【広報室】**
- ・ まちづくり懇話会では延べ 749 名（6 会場）の参加が得られた。一方、市政モニター制度を活用したアンケートについては、関係課からの依頼案件は 2 件のみであり、モニター利用に関しさらに周知徹底を図りたい。